

保健福祉学部の教育目標

1. かけがえのない存在である「ひと」を深く理解するとともに、豊かな人間関係を築く力を培う。
2. 人々のニーズやコミュニティが抱える様々な課題を広い視野で考察、分析し、市民との協働により解決する力を培う。
3. 人々にとって最適な保健医療福祉サービスを提供するため、常に科学的根拠に基づく判断力をもち、高い倫理観や人権意識を基盤とした実践力を培う。
4. 保健・医療・福祉に関する幅広い知識や技術を理解するとともに、連携して協働できる力を培う。
5. 専門領域における基礎的知識や技術を十分理解するとともに、主体的に学問を探究し、真理を追究する姿勢を培う。
6. 国際的な視野に立ち、コミュニティを基盤として広く世界に貢献する力を培う。

5

＜大学、学部の教育理念、教育目標をふまえ＞ 看護学生が卒業時に習得していることを期待する能力

1. ヒューマンケアリングに基づいた人間関係を築くためのコミュニケーション能力がある。
2. 批判的に思考する姿勢をもち、物事の本質を探究する態度がある。
3. 科学的根拠に基づいた看護実践、系統的に情報収集し有用な情報を選択できる。
4. 対象の健康に焦点をあて、ニーズや課題を的確に把握し、必要な援助の計画を立て、実施、評価できる。
5. 保健医療福祉の分野で看護の専門性と役割を幅広く捉えることができる。
6. 看護学の発展に寄与しようとする意欲がある。

6